

(仮称) 第 3 期県立高校将来構想 (答申案) 新旧対照表

修正後 (答申案)	修正前 (答申中間案)
<p>第 1 章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>1 本県の高校教育改革の取組</p> <p>(2) 「新県立高校将来構想」期間中の主な動き</p> <p>① 県立高校教育の在り方</p> <p> 工 教育環境の充実・学校経営の改善</p> <p> (工) 多様な生徒の受け入れ態勢の整備</p> <p> 一人一人の個性や特性に応じた適切な支援を行い, 不登校傾向の生徒やコミュニケーション等に問題を抱える生徒, 発達障害のある生徒等に対応するため, 教育相談事業の充実や<u>スクールカウンセラー(※)</u>や<u>スクールソーシャルワーカー(※)</u>の配置, 教育相談や特別支援教育に関する研修等を実施しました。</p> <p> <u>※スクールカウンセラー…児童生徒の生活上の問題や悩みに対する相談・カウンセリングや保護者・教職員への助言・援助を行う目的で学校に配置されている臨床心理士などの資格を持った専門家。</u></p> <p> <u>※スクールソーシャルワーカー…教育分野に関する知識に加えて, 社会福祉などの専門的な知識・技術を用いて, 児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけるなど, 関係機関等とのネットワークを活用して支援を行う専門家。</u></p>	<p>第 1 章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>1 本県の高校教育改革の取組</p> <p>(2) 「新県立高校将来構想」期間中の主な動き</p> <p>① 県立高校教育の在り方</p> <p> 工 教育環境の充実・学校経営の改善</p> <p> (工) 多様な生徒の受け入れ態勢の整備</p> <p> 一人一人の個性や特性に応じた適切な支援を行い, 不登校傾向の生徒やコミュニケーション等に問題を抱える生徒, 発達障害のある生徒等に対応するため, 教育相談事業の充実や<u>スクールカウンセラー</u>や<u>スクールソーシャルワーカー</u>の配置, 教育相談や特別支援教育に関する研修等を実施しました。</p>
<p><意見等の主旨></p> <p>スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの役割の違いを簡潔に説明する表現を加えるべき。</p>	
<p><意見に対する考え方></p> <p>用語の意味を明確にするため, 「スクールカウンセラー」及び「スクールソーシャルワーカー」についての説明を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>1 本県の高校教育改革の取組</p> <p>(2) 「新県立高校将来構想」期間中の主な動き</p> <p>② 社会の変化に的確に対応した学科編成・学校配置</p> <p>イ 定時制課程・通信制課程</p> <p>(略)</p> <p>また、通信制の独立校として平成24年4月に美田園高校を設置しました。美田園高校では、<u>生徒の多様な学習ニーズなどにきめ細かく対応するため、本校での面接指導（スクーリング）</u>のほか遠隔地の生徒の利便性を図るため、美里町において地域スクーリングを実施しています。また、インターネットの活用や学習サポーターによる学習支援を行うなど個別の支援体制の充実に努めているほか、石巻北高校飯野川校（定時制）と連携し、同校の生徒が、美田園高校の<u>報告課題（レポート）</u>の添削指導やスクーリングに出席することにより単位認定を受けることができる仕組みを構築しました。</p>	<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>1 本県の高校教育改革の取組</p> <p>(2) 「新県立高校将来構想」期間中の主な動き</p> <p>② 社会の変化に的確に対応した学科編成・学校配置</p> <p>イ 定時制課程・通信制課程</p> <p>(略)</p> <p>また、<u>多様な生徒へのきめ細かい学習指導や生活指導を行うため</u>、通信制の独立校として平成24年4月に美田園高校を設置しました。美田園高校では、<u>個別スクーリング</u>のほか遠隔地の生徒の利便性を図るため、美里町において地域スクーリングを実施しています。また、インターネットの活用や学習サポーターによる学習支援を行うなど個別の支援体制の充実に努めているほか、石巻北高校飯野川校（定時制）と連携し、同校の生徒が、美田園高校の<u>レポート</u>添削指導やスクーリングに出席することにより単位認定を受けることができる仕組みを構築しました。</p>
<p><意見等の主旨></p> <ul style="list-style-type: none"> 通信制高校の設置目的は、「学習指導」を中心に記載すべき。 「スクーリング」、「レポート」という表現は法令に則った表現ではないことから、「面接指導」及び「報告課題」に改めるべき。 	
<p><意見に対する考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> 現状をより分かりやすく記載するため、「また、通信制の独立校として平成24年4月に美田園高校を設置しました。美田園高校では、生徒の多様な学習ニーズなどにきめ細かく対応するため」と表記を修正します。 用語使用の正確を期すため、スクーリングを「面接指導（スクーリング）」、レポートを「報告課題（レポート）」と一部修正します。 	

※表記の整理による修正を含む。

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>2 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>(2) 県立高校の現状と課題</p> <p>③ ICTの進展</p> <p>知識・情報・技術を巡る変化の早さが加速度的となり、情報化やグローバル化等急激な社会的変化の中で、これからの社会を担う生徒には、情報や情報手段を受け身ではなく、主体的に選択し活用することが求められています。しかし、これらを支える本県のインフラ環境は低調であり、教育の情報化が十分浸透している状況とは言えません。また、本県教員のICT活用指導力は、全国平均を下回る状況が続いています（平成29年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」）。ICTが日々進歩している中、学びの姿も変化しており、多様化が進みつつあるため、環境整備や各種研修を通して教員の指導力の向上を図ることで、ICTの活用による教育を推進し、情報活用能力の育成を図る必要があります。</p>	<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>2 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>(2) 県立高校の現状と課題</p> <p>③ ICTの進展</p> <p>知識・情報・技術を巡る変化の早さが加速度的となり、情報化やグローバル化等急激な社会的変化の中で、これからの社会を担う生徒には、情報や情報手段を受け身ではなく、主体的に選択し活用することが求められています。しかし、これらを支える本県のインフラ環境は低調であり、教育の情報化が十分浸透している状況とは言えません。また、本県教員のICT活用指導力は、全国平均を下回る状況が続いています（平成29年度「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」）。ICTが日々進歩している中、学びの姿も変化しており、多様化が進みつつあるため、環境整備や教員の指導力の向上を図ることで、ICTの活用による教育を推進し、情報活用能力の育成を図る必要があります。</p>
<p><意見等の主旨></p> <p>ICT機器の整備とともに、教員がどのように活用していくのかという視点が必要である。</p>	
<p><意見に対する考え方></p> <p>ICT環境整備を進めるとともに、「第2期みやぎの教育情報化推進計画」に基づく各種研修を実施し、教員のICT活用指導力の向上を図っていくことから、「各種研修を通して」の文言を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>2 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>（2）県立高校の現状と課題</p> <p>④ 不登校生徒や中途退学者への対応 （略）</p> <p>そのため、高校と中学校・特別支援学校・地域の保健福祉部門等との連携を強化し、教育相談体制を拡充するとともに、生徒一人一人の自己肯定感の涵養や自己実現を積極的に支援していく体制づくりが必要です。加えて、定時制・通信制課程については、不登校・中途退学者や全日制課程からの転入学者など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が増加していることを踏まえた在り方を検討していく必要があります。</p>	<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>2 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>（2）県立高校の現状と課題</p> <p>④ 不登校生徒や中途退学者への対応 （略）</p> <p>そのため、高校と中学校・特別支援学校・地域の保健福祉部門等との連携を強化し、教育相談体制を拡充するとともに、生徒一人一人の自己実現を積極的に支援していく体制づくりが必要です。加えて、定時制・通信制課程については、不登校・中途退学者や全日制課程からの転入学者など、様々な入学動機や学習歴を持つ生徒が増加していることを踏まえた在り方を検討していく必要があります。</p>
<p><意見等の主旨></p> <p>しっかり学び直しができ、自己肯定感を得ることのできる環境整備が必要である。</p>	
<p><意見に対する考え方></p> <p>自己肯定感を育むことは重要な視点であることから、「生徒一人一人の自己肯定感の涵養や自己実現を積極的に支援していく体制づくりが必要」と修正します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>2 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>（2）県立高校の現状と課題</p> <p>⑤ 「新学習指導要領」への対応</p> <p>平成31年度から先行実施され、平成34年度から年次進行での実施となる「新学習指導要領」において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の改善や、学校の教育目標の実現に向け、教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルである「カリキュラム・マネジメント」（※）の推進等が求められており、本県においても、適切に対応する必要があります。</p> <p><u>また、成年年齢が18歳に引き下げられることを踏まえ、選挙権年齢の引下げと併せて、よりよい社会作りに参画し未来を創造する担い手となる資質・能力の育成を図る必要があります。</u></p>	<p>第1章 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>2 高校教育を取り巻く現状と課題</p> <p>（2）県立高校の現状と課題</p> <p>⑤ 「新学習指導要領」への対応</p> <p>平成31年度から先行実施され、平成34年度から年次進行での実施となる「新学習指導要領」において、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習・指導方法の改善や、学校の教育目標の実現に向け、教育課程を編成・実施・評価し、改善を図る一連のサイクルである「カリキュラム・マネジメント」（※）の推進等が求められており、本県においても、適切に対応する必要があります。</p>
<p><意見等の主旨></p> <p>18歳成人に関する事項を入れるべき。</p> <p>成人年齢が18歳になることについて将来構想の中では触れられていない。</p>	
<p><意見に対する考え方></p> <p>選挙権年齢及び成年年齢の引下げについては、高校教育改革の重要な視点であることから、「成年年齢が18歳に引き下げられることを踏まえ、選挙権年齢の引下げと併せて、よりよい社会作りに参画し未来を創造する担い手となる資質・能力の育成を図る必要があります」という記述を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑨ 部活動の質的充実</p> <p>部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであるという認識の下、スポーツや文化等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等を図ります。また、部活動の具体的な指導の在り方、内容や方法についての必要な検討、外部指導者の導入等に関して見直し、創意工夫、改善、研究を進め、科学的な根拠に基づいた適切で効果的な指導を行う等、「部活動での指導ガイドライン」に示した内容を着実に実施します。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>1 未来を担う高い志を持つ人づくり</p> <p>（1）教育内容の充実</p> <p>⑨ 部活動の質的充実</p> <p>部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであるという認識の下、スポーツや文化等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等を図ります。また、部活動の具体的な指導の在り方、内容や方法についての必要な検討、外部指導者の導入等に関して見直し、創意工夫、改善、研究を進め、適切で効果的な指導を行う等、「部活動での指導ガイドライン」に示した内容を着実に実施します。</p>
<p><意見等の主旨></p> <p>部活動の質の向上を高めるため、専門的でスポーツ科学の視点を活かした取組や外部指導者の導入等に期待する。</p>	
<p><意見に対する考え方></p> <p>適切で効果的な指導の内容をより明確にするため、「科学的な根拠に基づいた適切で効果的な指導」と修正します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</p> <p>（1）社会的ニーズに応じた高校，学科の在り方</p> <p>② 他機関との連携</p> <p>ウ 地域や企業等との連携の在り方</p> <p>地域社会や企業，<u>NPO</u>等の教育資源や地域人材の更なる活用のため，「地域パートナーシップ会議」等を設置するとともに，学校の地域連携担当を核とした地域や企業，<u>NPO</u>等との一層の連携を図り，「チーム学校」を推進します。また，学校運営にあたり，学校評議員制度の活用や学校関係者評価の結果等の分析と情報公開を通じた地域等との連携を更に推進します。</p> <p>さらに，学校と地域住民や保護者等との連携により，学校経営力の向上につなげるため，県立高校でのコミュニティ・スクール導入を検討します。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</p> <p>（1）社会的ニーズに応じた高校，学科の在り方</p> <p>② 他機関との連携</p> <p>ウ 地域や企業等との連携の在り方</p> <p>地域社会や企業等の教育資源や地域人材の更なる活用のため，「地域パートナーシップ会議」等を設置するとともに，学校の地域連携担当を核とした地域や企業等との一層の連携を図り，「チーム学校」を推進します。また，学校運営にあたり，学校評議員制度の活用や学校関係者評価の結果等の分析と情報公開を通じた地域等との連携を更に推進します。</p> <p>さらに，学校と地域住民や保護者等との連携により，学校経営力の向上につなげるため，県立高校でのコミュニティ・スクール導入を検討します。</p>
<p><意見等の主旨></p> <p>地域との連携には，NPOとの関わりも必要となってくるので，NPOという言葉を入れてほしい。</p>	
<p><意見に対する考え方></p> <p>連携先をより明確にするため，地域や企業等との連携に「NPO」を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</p> <p>（2）学びの多様化への対応</p> <p>① 定時制課程・通信制課程の在り方</p> <p>イ 通信制課程の在り方</p> <p>通信制課程は、多様な学習環境の確保の観点から弾力性のあるシステムとなっており、本県では美田園高校が唯一の通信制の単独校となっています。</p> <p>今後は、県内全域での学びの環境を整備する観点から、現在1カ所となっている地域スクーリング拠点について、<u>拠点の増設や定時制高校・全日制高校を協力校（※）として指定することなどを検討</u>します。</p> <p>また、在学中の学習の継続<u>や進路の達成に向けて</u>、教育内容の充実を図るとともに、ICTを活用した学習の推進や学習サポーターによる学習支援の拡充など<u>生徒一人一人のニーズに対応した</u>個別の支援を強化します。</p> <p><u>※協力校…面接指導及び試験等に関して、通信制高校の教育に協力する高校。</u></p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</p> <p>（2）学びの多様化への対応</p> <p>① 定時制課程・通信制課程の在り方</p> <p>イ 通信制課程の在り方</p> <p>通信制課程は、多様な学習環境の確保の観点から弾力性のあるシステムとなっており、本県では美田園高校が唯一の通信制の単独校となっています。</p> <p>今後は、県内全域での学びの環境を整備する観点から、現在1カ所となっている地域スクーリング拠点について、定時制高校や全日制高校を<u>協力校</u>として指定する<u>など拠点整備を推進</u>します。</p> <p>また、在学中の学習の継続<u>を促進するため</u>、教育内容の充実を図るとともに、ICTを活用した学習の推進や学習サポーターによる学習支援の拡充など<u>生徒への</u>個別の支援を強化します。</p>
<p><意見等の主旨></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スクーリング拠点については、美田園高校の教員数を拡充し、拠点校を増設することで対応すべき。 ・面接指導と試験等への協力という協力校の位置付けを明確にすべき。 ・生徒一人一人のニーズに応じた教育課程の充実を図るべき。 	
<p><意見に対する考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スクーリング拠点については、拠点の整備や協力校の指定を含めて検討していくこととしており、趣旨が明確に伝わるよう「拠点の増設や定時制高校・全日制高校を協力校（※）として指定することなどを検討します。」と修正します。 ・用語の意味を明確にするため、「協力校」についての説明を追加します。 ・趣旨を明確にするため、「在学中の学習の継続や進路の達成に向けて」及び「生徒一人一人のニーズに対応した個別の支援」と修正します。 	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</p> <p>（3）少子化の中での高校の在り方</p> <p>本県の中学校卒業生数は、<u>構想期間中の</u>平成31年から平成40年の<u>間に</u>1,600人程度（約8%）減少する見込みであり、今後も学校の再編や学級減を行い、高校入学者定員の適正化を図っていく必要があります。</p> <p>（略）</p> <p>② 地区別の高校配置の方向性</p> <p>○南部地区～○気仙沼・本吉地区（※共通）</p> <p>地区の中学校卒業生数は、平成31年から平成40年の<u>間に</u>・・・</p> <p>○石巻地区</p> <p>《現状》</p> <p>平成30年4月現在、全日制高校が8校（うち石巻市立の高校が1校）、定時制高校が2校（<u>昼間1校</u>、<u>多部制1校</u>）設置されています。</p>	<p>第4章 高校教育改革の取組</p> <p>2 未来を拓く魅力ある学校づくり</p> <p>（3）少子化の中での高校の在り方</p> <p>本県の中学校卒業生数は、平成31年から平成40年の10年間で1,600人程度（約8%）減少する見込みであり、今後も学校の再編や学級減を行い、高校入学者定員の適正化を図っていく必要があります。</p> <p>（略）</p> <p>② 地区別の高校配置の方向性</p> <p>○南部地区～○気仙沼・本吉地区（※共通）</p> <p>地区の中学校卒業生数は、平成31年から平成40年の<u>10年間で</u>・・・</p> <p>○石巻地区</p> <p>《現状》</p> <p>平成30年4月現在、全日制高校が8校（うち石巻市立の高校が1校）、定時制高校が1校（多部制）設置されています。</p>
<p><意見等の主旨></p> <p>中学校卒業生数のデータの取り方を精査すべき。</p>	
<p><意見に対する考え方></p> <p>誤解のないよう適切な表記に修正します。</p>	

※表記の誤りの修正を含む。

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p data-bbox="226 261 539 292">第5章 将来構想の推進</p> <p data-bbox="226 308 696 338">1 家庭・地域・学校の協働の必要性</p> <p data-bbox="293 357 360 387">（略）</p> <p data-bbox="259 406 1120 628">こうしたことから、家庭・地域・学校が適切にその役割を分担して、相互の連携を図り、高校教育を展開します。学校は、家庭・地域との協働の場づくりのため、地域への学校施設の開放や学習機会の提供、情報発信などを積極的に行い、地域の拠点としての様々な活動に取り組んでいきます。</p>	<p data-bbox="1131 261 1444 292">第5章 将来構想の推進</p> <p data-bbox="1131 308 1601 338">1 家庭・地域・学校の協働の必要性</p> <p data-bbox="1198 357 1265 387">（略）</p> <p data-bbox="1164 406 2024 580">こうしたことから、家庭・地域・学校が適切にその役割を分担して、相互の連携を図り、高校教育を展開します。学校は、家庭・地域との協働の場づくりのため、地域への学校施設の開放や学習機会の提供などを積極的に行い、地域の拠点としての様々な活動に取り組んでいきます。</p>
<p data-bbox="226 745 450 775"><意見等の主旨></p> <p data-bbox="226 794 994 825">日頃の教育活動の様子を生徒，保護者，地域にPRしてほしい。</p>	
<p data-bbox="226 841 533 871"><意見に対する考え方></p> <p data-bbox="226 890 1637 920">教育内容や各学校の特色ある取組を積極的に発信していくことを明確にするため、「情報発信」の文言を追加します。</p>	

修正後（答申案）	修正前（答申中間案）
<p data-bbox="226 256 539 288">第5章 将来構想の推進</p> <p data-bbox="226 304 779 336">2 将来構想の推進に向けた適正な進行管理</p> <p data-bbox="226 352 501 384">（2）適正な進行管理</p> <p data-bbox="226 400 1120 624">本構想を具体的に推進するにあたっては、計画的に進める必要があり、再編整備計画に基づいた高校教育改革の各取組を進めるとともに、適宜、進捗状況を把握し、県民の目線に立った教育行政を推進する観点から成果や有効性について確認し、<u>情報提供を行うなど</u>、適正な進行管理を行います。</p>	<p data-bbox="1131 256 1444 288">第5章 将来構想の推進</p> <p data-bbox="1131 304 1684 336">2 将来構想の推進に向けた適正な進行管理</p> <p data-bbox="1131 352 1406 384">（2）適正な進行管理</p> <p data-bbox="1131 400 2024 576">本構想を具体的に推進するにあたっては、計画的に進める必要があり、再編整備計画に基づいた高校教育改革の各取組を進めるとともに、適宜、進捗状況を把握し、県民の目線に立った教育行政を推進する観点から成果や有効性について確認<u>することにより</u>、適正な進行管理を行います。</p>
<p data-bbox="226 839 454 871"><意見等の主旨></p> <p data-bbox="226 887 1155 919">将来構想の動きや実績等を明らかにして発信していくことが大事ではないか。</p>	
<p data-bbox="226 935 533 967"><意見に対する考え方></p> <p data-bbox="226 983 1742 1015">進捗状況を把握し、成果や有効性を確認することに「情報提供」という文言を追加し、情報発信について工夫してまいります。</p>	